

大阪・関西万博で復興庁展示のオープニングセレモニーに参加しました（2025/5/19）

テーマ：東日本大震災、復興、Build Back Better
会場：大阪市此花区・万博会場 EXPO メッセ
URL：<https://expo2025-portal.reconstruction.go.jp/>

2025年5月19日（月）、開催中の大阪・関西万博において、「未来のコミュニティとモビリティ」と題されたテーマウィークで、復興庁及び経済産業省の共同主催による展示「東日本大震災からのよりよい復興（Build Back Better）」のオープニングセレモニーが執り行われ、当研究所の今村文彦教授（津波工学研究分野／本学副学長（社会連携・校友会・基金担当））が参列しました。

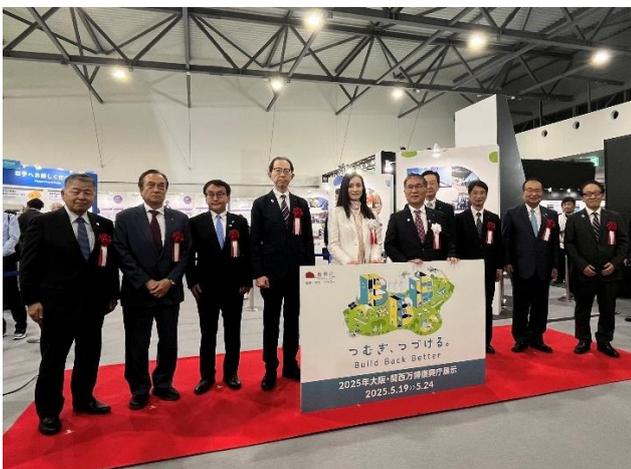
本展示は、東日本大震災からの復興の軌跡とそこから得られた貴重な教訓を国内外に広く発信し、未来の防災・減災、さらにはレジリエントな社会構築への貢献を目指すものです。会場では、被災地の創造的な復興の様相や、困難を乗り越え未来を切り拓く人々の力強いメッセージが紹介されています。

オープニングセレモニーでは、復興大臣による開会挨拶に続き、復興 PR アンバサダーの荒川静香氏、福島県知事、宮城県副知事、岩手県知事、ならびに双葉町長、石巻市長、陸前高田市長が登壇されました。各氏はそれぞれの復興への熱い思いや、被災地の現状と未来への展望、そして是非現地を訪れてほしいとのメッセージを力強く語られました。

学術界からは、展示内容と深く関わる福島国際研究教育機構（F-REI）の山崎光悦理事長と共に、今村教授が参列しました。今村教授は、長年にわたる津波研究で培われた広範な知見を活かし、災害対応や震災伝承に関する本展示の趣旨や内容構成について学術的な観点から監修を務めています。

本展示は5月24日（土）までの6日間開催され、初日の19日には約5,000人が来場するなど、開幕早々より多くの関心を集めています。当研究所としても、この展示が国内外の多様な来場者にとって、過去の教訓を未来へと繋ぎ、より安全で強靱な社会の実現に向けた具体的なアクションを考えるきっかけとなることを強く期待しております。

なお、展示内容は上記のサイトで紹介されています。



オープニングセレモニー参列者（右端：今村教授）



展示の内容を解説する今村教授